

## 「第15回大阪湾生き物一斉調査」 深日漁港干潟における生き物調査の概要

- 日時 令和4年5月28日(土) 11:00~13:00
- 場所 深日漁港干潟(泉南郡岬町深日)
- 主催 大阪湾生き物一斉調査実行委員会  
(事務局:国土交通省近畿地方整備局神戸港湾空港技術調査事務所)
- 調査団体 岬町立岬中学校科学部、CIFER・コア
- 観察指導 石田 惣氏(大阪市立自然史博物館学芸員)
- 参加者数 23名



新型コロナウイルス禍、中断していた深日漁港干潟における生き物調査を3年振りに行いました。大阪市立自然史博物館の石田学芸員の指導を受け、岬中学校科学部顧問2名・部員17名、CIFER・コア事務局2名、一斉調査事務局1名が調査に参加しました。

顧問によれば、3年生の部員の中に干潟で生物観察できることを期待して科学部に入った生徒がおり、1~2年生の時は新型コロナの影響で生き物調査が実施されず残念がっていたところ、今回の調査で「思い残すことなく卒業できる」と喜んでいるそうです。

ハマウドの花は既に落ち、ハマダイコンの花も終わりかけていましたが、干潟にはウミニナが足の踏み場もないほど散乱しており、小さな穴を掘るとハクセンシオマネキが現れました。アナアオサが干上がった砂の上で薄緑色のせんべいのようにっており、濃赤褐色のオゴノリが海水だまりに認められました。

参加部員からの石田学芸員への質問は生き物を採取している時だけでなく、調査結果解説でも相次ぎました。

本調査の結果発表会は11月3日(木・祝)に大阪市立自然史博物館講堂で開催されます(新型コロナウイルス感染の状況によってはオンラインに変更される場合があります)。



▲海辺の生物について観察



▲採取した生き物について解説を聞く科学部の生徒たち

※調査結果は他地点の結果と合わせ、大阪湾生き物一斉調査の情報公開サイトで公表されます。